

## 成澤文和君（4組）が出品、写真展鑑賞記

小宮山 豊（2組）

12月9日、四ツ谷にあるポートレートギャラリーへ。

成澤文和君（4組）が出品した写真展鑑賞のため、訪問しました。

成澤君は写真家三輪薫氏の主宰する「わの会」に、この10月から所属して今回初めての出品です。三輪先生は「カメラで日本画や水墨画を描く」作風で日本の自然風景と取り組んでおり、和紙によるデジタルファインプリントでは日本有数の写真家です。

成澤君の作品タイトルは「神秘の空間」。

「わの会」では自然風景をテーマとしたものが多いのですが、彼の作品は、神秘的な空間を切り取ったスナップ写真。他の作品には無い独特な空間を表現しています。

青の光が黒の空間に浮かび上がり、美しい大谷石の壁面を演出している。この光の使い方により神秘的な空間を表現していると感じました。自然風景写真が多い中で異彩を放っており、素晴らしい作品でした。

当日参加した同期、関賢治君（2組）、原田義則君（3組）、成澤君（4組）、小宮山（2組）は、鑑賞後、近くのスペイン料理店「ラ・ボケリア」へ。ワインで乾杯した後は、写真談議、テニス談議、旅行談議など、話が盛り上がり、あっという間の2時間でした。

（2020年12月10日記）

【写真 1 : 写真展にて、左から原田、成澤、関、小宮山】



【写真 2 : 成澤君の作品「神秘の空間」】

